

沖縄県

# がん患者さんのための 療養場所ガイド 8

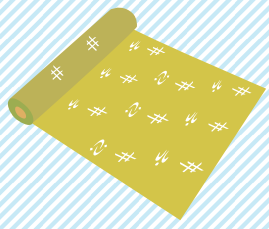
久米島町編

琉球大学病院がんセンター

沖縄県・がん患者さんのための療養場所ガイド 8  
久米島町編



沖縄県・がん患者さんのための療養場所ガイド8  
久米島町編 掲載エリアマップ



久米島町

久米島

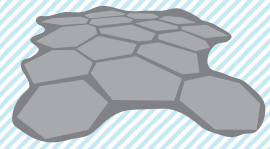


オーハ島



はての浜

豊石  
奥武島



## はじめに

本書は、主に沖縄県島尻郡久米島町にお住まいの方々のために、琉球大学病院がんセンターが、関係者の協力を得て作成しました。

どなたでも、がんと告げられたときに、頭が真っ白になるような大きな衝撃を受けて、動揺するのは当然のことです。どこで診てもらったらよいのだろう、すぐに（沖縄）本島中南部の病院や、東京の大きな病院に行かなくては、とってしまうかもしれません。

しかし、がん医療は大病院だけに行っているものではありません。みなさんの地元の公立久米島病院（以下、久米島病院）で行えることもかなりあります。さらに、中南部の医療機関と久米島病院が連携することによって、より多くのがん医療を久米島町にお住まいのがん患者さんに提供できるようになっています。

そこで久米島町にお住まいの方々に、

- (1) 久米島町のがん医療の現状についての正確な情報
- (2) お住まいの地域で、安心して質の高いがん医療が受けられることをお伝えすることを目指して、本書を刊行しました。

2015年に久米島町で新たに診断されたがん（上皮内がんを含む）は53例（男性31例、女性22例）でした\*。このことから、久米島町では毎年50名以上の方ががんと診断されていると推定されます。一生のうちに、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれるほど、がんはすべての人にとって身近な病気です。

本書が、久米島町にお住まいのがん患者さんやそのご家族に少しでもお役に立てれば幸いです。

\*平成30年度沖縄県がん登録事業報告書

## もくじ

はじめに .....	1
本書を使うにあたって .....	4

### がんの診断や治療を どの医療機関で受けたらよいのか？



胃がん .....	6
大腸がん .....	8
肝細胞がん .....	10
胆のうがん・胆管がん(肝内胆管がんを含む)・乳頭部がん .....	12
膵臓がん .....	14
肺がん .....	16
皮膚のがん .....	18
乳がん .....	20
子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん .....	22
前立腺がん .....	24
血液のがん .....	26
その他のがん .....	28
がんの療養に関する相談窓口 .....	30

こんな場合には、どの医療機関で  
がんの治療や相談をすればよいのか？

- 治療終了後の経過観察
- 再発後の治療
- 治療が難しい、  
治療を望まない・行わない



胃がん、大腸がん、肝細胞がん、胆のうがん・胆管がん・乳頭部がん、  
膵臓がん、肺がん .....32

皮膚のがん、乳がん、子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん、  
前立腺がん、血液のがん、その他のがん .....34

## 医療機関一覧



久米島町におけるがん種別の療養場所 .....36

久米島町の医療機関 .....40

沖縄県内のがん診療医療機関について .....41

がん診療を行っている沖縄県内の医療機関 .....42

沖縄県内の医療機関問い合わせ先一覧 .....44

あとがき .....46

がんの療養に役立つ書籍 .....49

## 本書を使うにあたって

1. 「がんかもしれません」、または「がんです」と言われたときに、どこでがんに関する詳しい検査を受けるのか、どこで治療を受けるのかについて考えるときは、どうぞ本書を利用してください。本書は、久米島町に住んでいる方ががんになった場合を想定して、療養場所についての情報を掲載しています。
2. ご自分で読むのはもちろん、必要に応じて、ご家族やご親戚、ご友人と一緒に読んでください。いろいろな助言を得られることがあるはずです。
3. その上で、担当医、セカンドオピニオンを聴く医師と、療養場所について相談するとよいでしょう。
4. 治療が一段落した方や、経過観察となった方、もしくは再発した方にも、本書はどこで療養したらよいかのヒントを与えてくれると思います。
5. 本書の情報は2020年3月時点のものです。沖縄県の離島の医療機関の医師は異動が多いため、対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。受診する際には、その点をご確認ください。

※本書では、県民の通称にならって、沖縄島を「本島」と表記しています。

### < 免責条項 >

本書を発行するにあたっては、できるだけ実情を調査して執筆いたしました。また、記載した医療機関も本書に記載されていることを承知し、よりよい医療の提供に努めています。ただし、医療サービスの内容や質は完全に保証できるものではありません。ご自身の責任において、医療機関の選択や判断をお願いいたします。

がんの診断や治療を  
どの医療機関で受けたらよいのか？



## 胃がん

### 1. 診断

#### (1) 精密検査(確定診断)

胃の内視鏡検査が必要です。内視鏡検査では胃の内部を観察し、がんが疑われる病変があると生検(病変の一部を採って、顕微鏡で詳しく調べる検査)を行い、病理検査・病理診断\*で確定診断します。さらに、超音波(エコー)検査\*\*、CT検査、MRI検査、胸部X線検査、注腸検査等を行います。

久米島病院では、一部可能です。本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☞P42・43)でも可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/ stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☞P42・43)等で可能です。

#### \* 病理検査・病理診断

病変の一部(組織)を薄く切り出したり、体の一部分から採った細胞を、顕微鏡で観察することにより、悪性腫瘍かどうか、異型度はどうかなど、組織や細胞の性質を詳しく調べる検査のことです。病理検査に基づいてなされる診断を病理診断といい、専門の病理医によってなされます。

#### \*\* 超音波(エコー)検査

超音波を体の表面に当て、その超音波が体の中で反射する様子により、体の断面をみる検査です。



## 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

### (1) 手術(腹腔鏡下手術を含む)と内視鏡治療

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。その際に、通常の開腹手術ではなく、腹腔鏡下胃切除術(腹部に小さな穴を数ヶ所開けて、専用のカメラや器具で手術する方法)を行うこともあります。また、内視鏡を用いて胃がんを切除する、内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)などを用いることもあります。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関(☎P42・43)等で可能です。

### (2) 薬物療法(抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

手術が成功しても、手術後に薬物療法が必要なことがあります(術後補助薬物療法)。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関(☎P42・43)で可能です。

球美の島診療所でも、経口(飲み薬)抗がん剤であるテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム(ティーエスワン®/TS-1)単独療法は可能な場合がありますが、その他の薬物療法は困難です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはお相談ください。

## 大腸がん

### 1. 診断

---

#### (1) 精密検査(確定診断)

大腸の内視鏡検査が必要です。内視鏡検査では大腸の内部を観察し、がんが疑われる病変があると生検(病変の一部を採って、顕微鏡で詳しく調べる検査)を行い、病理検査・病理診断で確定診断します。

久米島病院では、一部可能です。本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)でも可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/ stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)等で可能です。

### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

---

#### (1) 内視鏡治療

病変の状態により、内視鏡的ポリープ切除術(ポリペクトミー)、内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が行われます。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)等で可能です。

#### (2) 手術(腹腔鏡下手術を含む)

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。最近では、腹部に小さな穴を作り、そこから小型カメラと切除器具の

ついた腹腔鏡を入れ、画像を見ながらがんを摘出する腹腔鏡下手術という方法もあります。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関（☞P42・43）等で可能です。

### （３）放射線療法（がんの治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療）

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

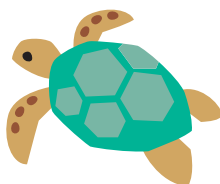
久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります（☞P42・43）。

### （４）薬物療法（抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など）

手術が成功しても、手術後に薬物療法が必要なことがあります（術後補助薬物療法）。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関（☞P42・43）で可能です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはお相談ください。



## 肝細胞がん

肝臓のがんは、肝臓にできた「原発性肝がん」と別の臓器から転移した「転移性肝がん」に大別されます。「原発性肝がん」には、肝臓の細胞ががんになる「肝細胞がん」と、胆汁を十二指腸に流す管（胆管）の細胞ががんになる「胆管細胞がん（肝内胆管がん）」（➡P12・13）などがあります。

### 1. 診断

#### （1）精密検査（確定診断）

超音波（エコー）検査やCT検査などの画像検査と腫瘍マーカー検査\*を組み合わせて行います。必要があれば針生検\*\*などの検査を追加して行います。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（➡P42・43）等で可能です。

#### （2）病期判定

治療の方針を決めるために、病期（ステージ／stage＝病気の広がり、がんの進行の程度）を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（➡P42・43）等で可能です。

##### \*腫瘍マーカー検査

がん（腫瘍）が作り出す特殊な物質のうち、体液中（主として血液中）で測定できるもの。がん（腫瘍）の状態の目安として使われます。

##### \*\*針生検

超音波検査で肝臓内部を見ながら細い針を腫瘍部分に刺し、少量の腫瘍組織を採取して、顕微鏡で観察することにより、悪性腫瘍かどうかなど、組織や細胞の性質を詳しく調べる検査のことです。

## 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関 (☎P42・43) 等で可能です。

### (2) 局所療法、肝動脈塞栓療法(TAE)および肝動注化学療法(TAI)

局所療法には、経皮的エタノール注入療法(PEIT)、経皮的マイクロ波凝固療法(PMCT)、ラジオ波焼灼療法(RFA)などがあります。近年では、TAEでは肝動脈化学塞栓療法(TACE)が行われるようになっていきます。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関 (☎P42・43) 等で可能です。

### (3) 放射線療法 (がんの治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります (☎P42・43)。

### (4) 薬物療法 (抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関 (☎P42・43) で可能です。

球美の島診療所では、経口 (飲み薬) 分子標的治療薬であるソラフェニブ(ネクサバル®) 療法は可能ですが、その他の薬物療法は困難です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはご相談ください。

## 胆のうがん・胆管がん（肝内胆管がんを含む）・

胆汁を十二指腸に流す管（胆管）の細胞ががんになる胆管がんは、部位により、肝外胆管がんと肝内胆管がん（胆管細胞がん）に分けられます。肝内胆管がんは肝臓にできたがんとして、肝細胞がんと一緒に原発性肝がんとして取り扱われることもあります。

### 1. 診断

#### (1) 精密検査(確定診断) ※詳細は担当医にお聞きください。

腹部超音波（エコー）検査、CT（マルチスライスCT / MDCT）検査\*、MRI検査（磁気共鳴胆管膵管撮影 / MRCP）、直接胆道造影（内視鏡的逆行性胆道造影 / ERC、経皮経肝胆道造影 / PTC）、胆道鏡（経口胆道鏡 / POCS、経皮経肝胆道鏡 / PTCS）、超音波内視鏡検査 / EUS、管腔内超音波検査 / IDUSなどの画像検査と腫瘍マーカー検査を組み合わせで行います。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関（☎P42・43）で可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期（ステージ / stage = 病気の広がり、がんの進行の程度）を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

#### \*CT検査

体の周囲からX線を当てて、体の断面図を撮影する検査のことです。体を輪切りにしたような画像をコンピューターで作り出しているため、病変の形や特徴を詳細に観察できます。

## 乳頭部がん

### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

#### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関 (☎P42・43) 等で可能です。

#### (2) 放射線療法 (がんの治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります (☎P42・43)。

#### (3) 薬物療法 (抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関 (☎P42・43) で可能です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはお相談ください。

#### (4) 黄疸に対する処置

黄疸がある場合、内視鏡を用いて胆管にステント (プラスチック製あるいは金属製の管) を挿入する方法 (内視鏡的胆道ドレナージ/EBD) や皮膚から肝臓を介して胆管にステントを留置する方法 (経皮経肝胆道ドレナージ/PTBD) を用いて、胆汁を体外へ出す処置をすることがあります。

これらは、久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関 (☎P42・43) 等で可能です。

## 膵臓がん

### 1. 診断

---

#### (1) 精密検査(確定診断) ※詳細は担当医にお聞きください。

腹部超音波(エコー)検査、CT(マルチスライスCT/MDCT)検査、MRI検査(磁気共鳴胆管膵管撮影/MRCP)\*、超音波内視鏡検査/EUS、内視鏡的逆行性胆管膵管造影/ERCP、膵管内超音波検査/IDUS、経皮経肝胆道造影/PTCなどの画像検査と腫瘍マーカー検査を組み合わせで行います。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(➡P42・43)等で可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(➡P42・43)等で可能です。

#### \*MRI検査

巨大な磁石の中に入って、体のさまざまな部分を撮影する検査です。ベッドに寝て穴の中に入り、FMラジオなどで用いられている電波を体に当てて、体の中の様子を画像化します。体の縦、横、斜め、輪切りなどの画像が得られます。放射線を使いませんので、被曝はありません。

### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

---

#### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や



専門的がん診療機関（☞P42・43）等で可能です。

## （２）放射線療法（がんに治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療）

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。薬物療法と併用されることが多く、その場合は薬物放射線療法と呼ばれます。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることとなります（☞P42・43）。

## （３）薬物療法（抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など）

手術が成功しても、手術後に薬物療法が必要なことがあります（術後補助薬物療法）。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☞P42・43）で可能です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはお相談ください。

## （４）黄疸に対する処置

黄疸がある場合、内視鏡を用いて胆管にステント（プラスチック製あるいは金属製の管）を挿入する方法（内視鏡的胆道ドレナージ／EBD）や皮膚から肝臓を介して胆管にステントを留置する方法（経皮経肝胆道ドレナージ／PTBD）を用いて、胆汁を体外へ出す処置をすることがあります。

これらは、久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院（☞P42）等で可能です。

## 肺がん

肺のがんは、肺にできた「原発性肺がん」（本ページで解説）と別の臓器から転移した「転移性肺がん」に大別されます。

### 1. 診断

#### (1) 精密検査(確定診断)

胸部X線検査、喀痰細胞診\*、胸部CT検査、腫瘍マーカー検査、気管支鏡検査\*\*などを行います。必要に応じて、胸水の検査、経皮的肺穿刺・生検、胸腔鏡検査、脳のMRI、腹部CTおよび超音波(エコー)検査、骨シンチグラフィ\*\*\*などを行うこともあります。

久米島病院では、一部可能です。また、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関(☎P42・43)でも可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関(☎P42・43)等で可能です。

##### \* 喀痰細胞診

がん組織からはがれ落ちて、痰に混じって出てきたがん細胞を検出する検査です。

##### \*\* 気管支鏡検査

やわらかくて細い内視鏡を鼻または口から挿入し、のどから気管支の中を観察し、がんが疑われる部位から組織や細胞を採取します。

##### \*\*\* 骨シンチグラフィ

弱い放射線を出す薬を注射し、骨の病変(骨転移)などを調べる検査です。

## 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

---

### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

### (2) 放射線療法(がんに治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。薬物療法と併用されることもあり、その場合は薬物放射線療法と呼ばれます。また小細胞肺癌では、病期と病状によっては、予防的全脳照射が行われることもあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることとなります（☎P42・43）。

### (3) 薬物療法(抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

手術が成功しても、手術後に薬物療法が必要なことがあります（術後補助薬物療法）。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）で可能です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはお相談ください。

## 皮膚のがん（悪性黒色腫・基底細胞がん・

### 1. 診断

#### （1）精密検査（確定診断）

皮膚がん、中でも悪性黒色腫（メラノーマ）は、皮膚科専門医による臨床症状の総合的な診断が必要です。見ただけでは診断が難しい場合には、ダーモスコピーという拡大鏡を使用する検査が行われることもあります。この検査で皮膚の色素沈着や血管のパターンを調べることによって、他の疾患と悪性黒色腫との鑑別がより容易になります。臨床症状から診断するのが難しい場合は、腫瘍全体を切除して顕微鏡で調べる皮膚生検（全切除生検）を行います（全切除生検が困難な場合には皮膚病変の一部を切り取る部分生検が行われます）。

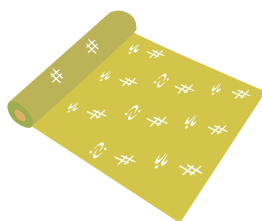
悪性黒色腫以外の皮膚がんを疑う場合は、局所麻酔をして部分生検を行います（場合によっては、全切除生検が行われます）。

久米島病院では、一部可能です。本島中南部のがん診療連携拠点病院（☞P42）等でも可能です。

#### （2）病期判定

治療の方針を決めるために、病期（ステージ／stage＝病気の広がり、がんの進行の程度）を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院（☞P42）等で可能です。



## 有棘細胞がんなど)

### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

#### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院 (☞ P42) 等で可能です。

#### (2) 放射線療法 (がんの治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることとなります (☞ P42・43)。

#### (3) 薬物療法 (抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院 (☞ P42) 等で可能です。



## 乳がん

### 1. 診断

---

#### (1) 精密検査(確定診断)

マンモグラフィ検査\*、超音波(エコー)検査、病理検査・病理診断(細胞診/組織診)、CT検査、MRI検査等を行います。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☞P42・43)で可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☞P42・43)等で可能です。

#### \* マンモグラフィ検査

病変の位置や広がりを調べるために行われる乳腺専用のX線検査です。少ない被曝線量で乳房組織を鮮明に映し出すために、板状のプレートで乳房を挟んで圧迫し、うすく引き伸ばして撮影します。そのため、乳房を圧迫される痛みがありますが、視診・触診で発見しにくい小さな病変も見つけることができます。

### 2. 治療

---

※詳細は担当医にお聞きください。

#### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☞P42・43)等で可能です。

## (2) 放射線療法(がんに治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります(➡P42・43)。

## (3) 内分泌(ホルモン)療法(がん細胞の増殖にかかわる体内のホルモンを調節して、がん細胞が増えるのを抑える治療法)

病型や病状によっては、内分泌療法を行うことがあります。

球美の島診療所で可能です。

また、久米島病院でも可能です。

## (4) 薬物療法(抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

手術が成功しても、手術後に薬物療法が必要なことがあります(術後補助薬物療法)。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関(➡P42・43)で可能です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはご相談ください。



## 子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん

### 1. 診断

---

#### (1) 精密検査(確定診断)

内診、直腸診、細胞診、組織診、コルポスコープ診\*、超音波(エコー)検査、子宮鏡検査、腫瘍マーカー検査、CT検査、MRI検査、膀胱鏡、直腸鏡、尿路検査などが行われます。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)で可能です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)等で可能です。

#### \* コルポスコープ診

コルポスコープという拡大鏡で、子宮頸部の粘膜表面を拡大して、細かい部分を観察し診断します。通常、組織を採取する際には、コルポスコープの観察で異常が疑われる部位に、狙いを定めて採取します。

### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

---

#### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)等で可能です。



## (2) 放射線療法(がんに治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。薬物療法と併用されることもあり、その場合は薬物放射線療法と呼ばれます。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります(☎P42・43)。

## (3) 薬物療法(抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

手術が成功しても、手術後に薬物療法が必要なことがあります(術後補助薬物療法)。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(☎P42・43)等で可能です。

## (4) 内分泌(ホルモン)療法(がん細胞の増殖にかかわる体内のホルモンを調節して、がん細胞が増えるのを抑える治療法)

子宮体がんの場合は、病型や病状によっては、内分泌療法を行うことがあります。

球美の島診療所で可能です。

また、久米島病院でも可能です。



## 前立腺がん

### 1. 診断

---

#### (1) 精密検査(確定診断)

PSA検査\*、直腸診、経直腸的前立腺超音波検査、前立腺生体組織検査(生検)\*\*等が行われています。

PSA検査、直腸診等の検査は久米島病院で実施可能ですが、疑わしい場合の精密検査は、本島中南部のがん診療連携拠点病院(➡P42)等への紹介が必要です。

#### (2) 病期判定

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/ stage=病気の広がり、がんの進行の程度)を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関(➡P42・43)等で可能です。

#### \*PSA検査

採血のみの検査で、血液中にある前立腺に特異的なタンパク質の一種「PSA」の値を測定します。PSAの値が高くなるにつれ、前立腺がんである確率も高くなっていきますが、前立腺肥大症や前立腺炎でも高値になることがあるため、基準値以上の値が出ると、専門医を受診し、前立腺がんであるかを確定するためのより詳しい検査を受けることになります。前立腺がんを診断するだけでなく、治療経過観察中の再燃・再発を見つける上でとても有効な検査です。

#### \*\*前立腺生体組織検査(生検)

超音波による画像で前立腺の状態を見ながら、細い針で前立腺を刺し、組織を採取する「系統的生検」が行われます。初回の生検では、10～12ヶ所からの組織採取がすすめられます。

### 2. 治療

---

※詳細は担当医にお聞きください。

## (1) PSA監視療法

PSA値を定期的に測定して、治療を開始するかどうかをみていく方法です。

久米島病院で可能です。

## (2) 手術

病期や病状によっては、手術が必要になることがあります。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

## (3) 放射線療法(がんの治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります（☎P42・43）。

## (4) 内分泌(ホルモン)療法(がん細胞の増殖にかかわる体内のホルモンを調節して、がん細胞が増えるのを抑える治療法)

病期や病状によっては、内分泌療法を行うことがあります。

球美の島診療所で可能です。

また、久米島病院でも可能です。

## (5) 薬物療法(抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

内分泌療法が有効でない症例や、効果がなくなったときに行う治療です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

## 血液のがん（白血病、悪性リンパ腫、

### 1. 診断

---

#### （1）精密検査（確定診断）

悪性リンパ腫を疑う場合は、麻酔を行い、しこりのあるリンパ節（可能ならば頸部リンパ節）あるいは腫瘍の一部を切り取り、顕微鏡で観察します（リンパ節生検または腫瘍生検）。

白血病や骨髄腫を疑う場合は、血液検査以外に骨髄検査（骨盤の骨の一つである腸骨に針を刺して、骨の中にある骨髄組織を採る検査）を行います。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

#### （2）病期や病型分類を決定するための検査

治療の方針を決めるために、病期（ステージ／stage＝病気の広がり、がんの進行の程度）や病型を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

---

#### （1）薬物療法（抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など）

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。



## 多発性骨髄腫など)

### (2) 放射線療法(がんに治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

がんの種類、病期や病状によっては、放射線治療が必要になることがあります。

久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることになります (☞P42・43)。



## その他のがん

### 1. 診断

---

#### (1) 精密検査(確定診断)

多くの場合、本島内の病院での詳しい検査が必要となりますが、まずは久米島病院に症状や心配な点などを相談するとよいでしょう。必要な場合は、本島中南部のがん診療連携拠点病院 (☎P42) へ紹介することが可能です。

#### (2) 病期や病型分類を決定するための検査

治療の方針を決めるために、病期(ステージ/stage=病気の広がり、がんの進行の程度)や病型を決定することが必要です。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院 (☎P42) 等で可能です。

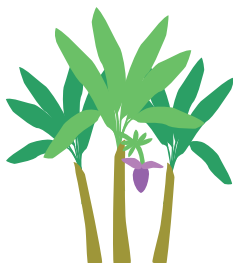
### 2. 治療 ※詳細は担当医にお聞きください。

---

#### (1) 手術

もし手術が可能な病期であれば、多くの場合、まずは手術をします。

久米島病院では困難ですが、本島中南部のがん診療連携拠点病院 (☎P42) 等で可能です。



## (2) 放射線療法(がんに治療用の放射線を当てて、がん細胞を破壊して、がんを消滅させたり小さくする治療)

がんの種類、病期や病状によっては、放射線療法が必要になります。久米島町では困難なので、本島中南部の放射線療法が可能な病院で治療を受けることとなります(☞P42・43)。

## (3) 薬物療法(抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など)

手術が成功しても、病期によっては、手術後に薬物療法が必要なことがあります(術後補助薬物療法)。また病期によっては、最初から薬物療法を行う場合があります。

本島中南部のがん診療連携拠点病院(☞P42)等で可能です。

久米島病院では、初回の薬物療法は困難です。しかし、他の医療機関で初回治療が行われた薬物療法の継続は可能なことがあります。久米島病院へまずはお相談ください。



## がんの療養に関する相談窓口

施設名	代表電話	対応日時
<b>沖縄県内</b>		
琉球大学病院 がん相談支援センター	098-895-1507 (直通)	月～金／9時～16時30分
沖縄県立中部病院 がん相談支援センター	098-973-4111 (内線3232)	月～金／9時～17時
那覇市立病院 がん相談支援センター	098-884-5111 (内線127・283)	月～金／9時～17時
北部地区医師会病院 がん相談支援センター	0980-54-1111 (代表)	月～金／9時～12時、 14時～17時 土／9時～12時
沖縄県立宮古病院 がん相談支援センター	0980-72-3151 (代表)	月～金／9時～16時30分
沖縄県立八重山病院 がん相談支援センター	0980-87-5557 (代表)	月～金／9時～16時
沖縄県地域統括 相談支援センター	098-942-3407	相談予約受付 月～金／9時～17時 ※詳細はお問い合わせください
<b>国立がん研究センター内</b>		
がん情報サービス サポートセンター (電話相談)	0570-02-3410 ※一部のIP電話からは ご利用いただけません 03-6706-7797	月～金／10時～15時

(2020年3月現在)

※お問い合わせは土・日・祝日・年末年始を除く



こんな場合には、どの医療機関で  
がんの治療や相談をすればよいのか？

● 治療終了後の経過観察

● 再発後の治療

● 治療が難しい、  
治療を望まない・行わない



■ こんな場合には、どの医療機関でがんの治療や相談をすればよいのか？

## 胃がん、大腸がん、肝細胞がん、胆のうがん・

いずれの場合でも、主治療を行ってきた担当医とよく相談して、診療情報提供書（紹介状）を作成してもらいます。その後、病院の地域連携室から、久米島病院へ連絡を行い、連携をした上での受診となります。

### 1. 治療終了後の経過観察

---

#### (1) 定期的な外来での経過観察

手術療法の終了後、または薬物療法（化学療法など）の終了後、再発がないかをみるために、定期的な外来での経過観察が必要です。

久米島病院では困難ですので、治療を受けた医療機関の外来で経過観察を行ってください。ただし、がんの種類によっては可能な場合もあります。そのため、久米島病院での経過観察の希望がある場合は、久米島病院へまずはご相談ください。

#### (2) CT等を使った画像による定期検査

治療終了後、年数回は再発していないことを確認するために、CT等を使った画像による定期検査が必要です。

治療を受けた医療機関の外来で、画像による定期検査を受けます。

### 2. 再発後の治療

---

#### (1) 再発後の治療方針の決定

いくつかの検査を行い、治療方針を決定する必要があります。

久米島病院では困難です。治療を受けた医療機関または本島のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☞P42・43）等で可能です。

## 胆管がん・乳頭部がん、膵臓がん、肺がん

### (2)再発後の治療

根治的な治療（完全に治すことを目的とする治療）や延命を目指す治療は、久米島病院では困難ですが、治療を受けた医療機関または本島のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関（➡P42・43）等で可能です。

また、痛みや様々な症状を取るための治療（緩和医療＝病を抱える患者やその家族ひとりひとりの身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア）を行うことは、久米島病院で可能です。

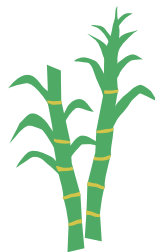
久米島病院で実施可能なことは数多くあります。希望される医療について、久米島病院へまずはお相談ください。

### 3. 治療が難しい、治療を望まない、治療を行わない場合

根治的な治療や延命を目指す治療を行わない場合でも、痛みや様々な症状を取るための治療（緩和医療）を行うことは、患者さんがどのような状態であれ、常に可能です。

自宅で療養したいという希望がある場合は、久米島病院で患者さんのご希望に沿えるようにすることが可能です。その場合は、ご家族も含めて、十分な話し合いが必要になります。

久米島病院で実施可能なことは数多くあります。希望される医療について、久米島病院へまずはお相談ください。



■ こんな場合には、どの医療機関でがんの治療や相談をすればよいのか？

## 皮膚のがん、乳がん、子宮頸がん・子宮体がん・

いずれの場合でも、主治療を行ってきた担当医とよく相談して、診療情報提供書（紹介状）を作成してもらいます。その後、病院の地域連携室から、久米島病院へ連絡を行い、連携をした上での受診となります。

### 1. 治療終了後の経過観察

---

#### (1) 定期的な外来での経過観察

手術療法の終了後、または薬物療法（化学療法など）の終了後、再発がないかをみるために、定期的な外来での経過観察が必要です。

久米島病院では困難ですので、治療を受けた医療機関の外来で経過観察を行ってください。ただし、がんの種類によっては可能な場合もあります。そのため、久米島病院での経過観察の希望がある場合は、久米島病院へまずにご相談ください。

#### (2) CT等を使った画像による定期検査

治療終了後、年数回は再発していないことを確認するために、CT 等を使った画像による定期検査が必要です。

治療を受けた医療機関の外来で、画像による定期検査を受けます。

### 2. 再発後の治療

---

#### (1) 再発後の治療方針の決定

いくつかの検査を行い、治療方針を決定する必要があります。

久米島病院では困難です。治療を受けた医療機関または本島のがん診療連携拠点病院や専門的がん診療機関（☎P42・43）等で可能です。

## 卵巣がん、前立腺がん、血液のがん、その他のがん

### (2) 再発後の治療

根治的な治療（完全に治すことを目的とする治療）や延命を目指す治療は、久米島病院では困難ですが、治療を受けた医療機関または本島のがん診療連携拠点病院や専門のがん診療機関（➡P42・43）等で可能です。

また、痛みや様々な症状を取るための治療（緩和医療＝病を抱える患者やその家族ひとりひとりの身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア）を行うことは、久米島病院で可能です。

久米島病院でも実施可能なことは数多くあります。希望される医療について、久米島病院へまずはお相談ください。

### 3. 治療が難しい、治療を望まない、治療を行わない場合

根治的な治療や延命を目指す治療を行わない場合でも、痛みや様々な症状を取るための治療（緩和医療）を行うことは、患者さんがどういう状態であれ、常に可能です。

自宅で療養したいという希望がある場合は、久米島病院で患者さんのご希望に沿えるようにすることが可能です。その場合は、ご家族も含めて、十分な話し合いが必要になります。

久米島病院でも実施可能なことは数多くあります。希望される医療について、久米島病院へまずはお相談ください。



## 久米島町におけるがん種別の療養場所

施設名	診断		初期治療			治療終了後		再発後		治療が難しい、 治療を望まない、 治療を行わない場合
	確定 診断	病期 決定	手術	化学 療法	放射 線 治療	定期的な 外来での 経過観察	画像に よる定 期検査	治療 方針の 決定	治療	
<b>胃がん</b>										
久米島	△	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠 点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専 門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	△		△	×	×	△	△
<b>大腸がん</b>										
久米島	△	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠 点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専 門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	×		△	×	×	△	△
<b>肝細胞がん</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠 点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専 門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	△		△	×	×	△	△

(2020年3月現在)

\* 胆道がん＝胆のうがん・胆管がん（肝内胆管がんを含む）・乳頭部がん

- ：対応可能    △：一部対応可能    ×：対応困難  
 一：専門的がん診療機関の選定なし ➡P42・43  
 ※：放射線治療 別掲9施設 ➡P42・43

胃がん／大腸がん／肝細胞がん／胆道がん／膵臓がん／肺がん

施設名	診断		初期治療		治療終了後			再発後		治療が難しい、 治療を望まない、 治療を行わない場合
	確定 診断	病期 決定	手術	化学 療法	放射 線 治療	定期的な 外来での 経過観察	画像に よる定 期検査	治療 方針の 決定	治療	
<b>胆道がん*</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	×		△	×	×	△	△
<b>膵臓がん</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	×		△	×	×	△	△
<b>肺がん</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	×		△	×	×	△	△

(2020年3月現在)

病院

久米島＝公立久米島病院 ➡ P40

拠点＝がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院 ➡ P42・43

専門＝沖縄県における専門的がん診療機関 ➡ P42・43

診療所＝球美の島診療所 ➡ P40

## 久米島町におけるがん種別の療養場所

施設名	診断		初期治療			治療終了後		再発後		治療が難しい、治療を望まない、治療を行わない場合
	確定診断	病期決定	手術	化学療法	放射線治療	定期的な外来での経過観察	画像による定期検査	治療方針の決定	治療	
<b>皮膚のがん**</b>										
久米島	△	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	—	—	—	—		—	—	—	—	—
診療所	×	×	×	×		△	×	×	△	△
<b>乳がん</b>										
久米島	×	×	×	△	※	×	△	△	×	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	△		△	×	×	△	△
<b>婦人科のがん***</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	×		×	×	×	△	△

(2020年3月現在)

\*\* 皮膚のがん＝悪性黒色腫・基底細胞がん・有棘細胞がんなど

\*\*\* 婦人科のがん＝子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん

\*\*\*\* 血液のがん＝白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫など

○：対応可能    △：一部対応可能    ×：対応困難

—：専門的がん診療機関の選定なし    ➡P42・43

※：放射線治療 別掲9施設    ➡P42・43



皮膚のがん／乳がん／婦人科のがん／前立腺がん／血液のがん／その他のがん

施設名	診断		初期治療			治療終了後		再発後		治療が難しい、治療を望まない、治療を行わない場合
	確定診断	病期決定	手術	化学療法	放射線治療	定期的な外来での経過観察	画像による定期検査	治療方針の決定	治療	
<b>前立腺がん</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	○	○	○	○		○	○	○	○	○
診療所	×	×	×	△		△	×	×	△	△
<b>血液のがん****</b>										
久米島	×	×	/	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○		○		○	○	○	○	○
専門	○	○		○		○	○	○	○	○
診療所	×	×		×		×	×	×	×	×
<b>その他のがん</b>										
久米島	×	×	×	△	※	△	△	×	△	○
拠点	○	○	○	○		○	○	○	○	○
専門	—	—	—	—		—	—	—	—	—
診療所	×	×	×	×		△	×	×	△	△

(2020年3月現在)

病院

久米島＝公立久米島病院 ➡ P40

拠点＝がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院 ➡ P42・43

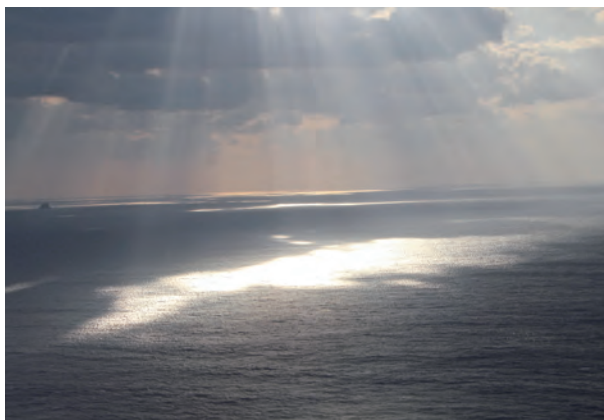
専門＝沖縄県における専門的がん診療機関 ➡ P42・43

診療所＝球美の島診療所 ➡ P40

## 久米島町の医療機関

医療機関名	所在地	休診日	代表電話
公立久米島病院	久米島町 字嘉手苺 572-3	月・日祝祭日	098-985-5555
球美の島診療所	久米島町 真我里78	水(午後)・ 土(午後)・ 日祝祭日	098-896-8036

(2020年3月現在)



## 沖縄県内のがん診療医療機関について

### 1. がん診療連携拠点病院と地域がん診療病院

---

- (1) がん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）とは、専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院です。拠点病院には、各都道府県で中心的役割を果たす「都道府県拠点病院」と、都道府県内の各地域（二次医療圏）で中心的役割を果たす「地域拠点病院」があります。
- (2) 沖縄県では、「都道府県拠点病院」に琉球大学病院、「地域拠点病院」に那覇市立病院と県立中部病院が、それぞれ指定を受けています。
- (3) いわゆる希少がん（本書においては、その多くが「その他のがん」に含まれる）の場合は、琉球大学病院での治療をおすすめしています。
- (4) 拠点病院がない二次医療圏に、都道府県の推薦をもとに厚生労働大臣が指定した病院として、「地域がん診療病院」があり、沖縄県では、北部地区医師会病院と県立八重山病院が指定を受けています。なお、2020年4月からは、県立宮古病院も指定を受ける予定となっています。

\*本書では、利用者の便宜を図るため、次ページ以降の一覧表には、県立宮古病院を専門的がん診療機関として掲載しています。

### 2. 沖縄県内の専門的がん診療機関

---

沖縄県が策定した「沖縄県保健医療計画（第7次）」では、専門医がそろっていて、治療実績があり、手術療法、薬物療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療等を実施できる医療機関を「専門的がん診療機関」として選定しています。

## がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん*	胆道がん**	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍***	放射線療法
<b>県がん診療連携拠点病院</b>													
琉球大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>地域がん診療連携拠点病院</b>													
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>地域がん診療病院</b>													
北部地区医師会病院	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	○	○	—
<b>専門的がん診療機関</b>													
沖縄県立北部病院	○	—	○	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—
たいら内科クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
KIN放射線治療・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
中頭病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
ハートライフ病院	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
国立病院機構 沖縄病院	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
同仁病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肝がん*	胆道がん**	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍***	放射線療法
マンマ家クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
おもろまち メディカルセンター	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—
大浜第一病院	○	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
与那原中央病院	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—
南部医療センター ・子ども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
沖縄第一病院	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	—	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
宮古島徳洲会病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石垣島徳洲会病院	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—

(2020年3月現在)

出典：医療施設一覧（沖縄県保健医療部医療政策課ホームページ）

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/medicalfacilities3.html>

医師の異動等に対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。

\* 肝がん＝肝細胞がん・肝内胆管がん

\*\* 胆道がん＝胆のうがん・胆管がん・乳頭部がん

\*\*\* 血液腫瘍＝血液のがん

医療機関の連絡先 ➡ P44・45

## 沖縄県内の医療機関問い合わせ先一覧

### ■がん診療連携拠点病院

県	琉球大学病院 ☎ 098-895-3331 〒903-0215 西原町字上原207
地域	沖縄県立中部病院 ☎ 098-973-4111 〒904-2293 うるま市宮里281
	那覇市立病院 ☎ 098-884-5111 〒902-8511 那覇市古島2-31-1

### ■地域がん診療病院

北部	北部地区医師会病院 ☎ 0980-54-1111 〒905-8611 名護市字宇茂佐1712-3
八重山	沖縄県立八重山病院 ☎ 0980-87-5557 〒907-0002 石垣市真栄里584-1

### ■専門的がん診療機関

北部	沖縄県立北部病院 ☎ 0980-52-2719 〒905-8512 名護市大中2-12-3
	たいら内科クリニック ☎ 0980-53-0033 〒905-0011 名護市宮里6-8-7
中部	KIN放射線治療・健診クリニック ☎ 098-968-4664 〒904-1201 金武町字金武10897
	中頭病院 ☎ 098-939-1300 〒904-2195 沖縄市字登川610
	中部徳洲会病院 ☎ 098-923-1091 〒901-2393 北中城村字比嘉801
	ハートライフ病院 ☎ 098-895-3255 〒901-2492 中城村字伊集208
	国立病院機構 沖縄病院 ☎ 098-898-2121 〒901-2214 宜野湾市我如古3-20-14
南部	浦添総合病院 ☎ 098-878-0231 〒901-2132 浦添市伊祖4-16-1

(電話は代表番号)

南部	同仁病院 ☎ 098-876-2212 〒901-2133 浦添市城間1-37-12
	宮良クリニック ☎ 098-878-3311 〒901-2132 浦添市伊祖2-3-1 2F
	マンマ家クリニック ☎ 098-988-4141 〒901-2111 浦添市経塚633 メディカルKプラザ2F
	おもろまちメディカルセンター ☎ 098-867-2116 〒900-0011 那覇市上之屋1-3-1
	大浜第一病院 ☎ 098-866-5171 〒900-0005 那覇市天久1000
	沖縄赤十字病院 ☎ 098-853-3134 〒902-8588 那覇市与儀1-3-1
	沖縄協同病院 ☎ 098-853-1200 〒900-8558 那覇市古波蔵4-10-55
	那覇西クリニック ☎ 098-858-5557 〒901-0154 那覇市赤嶺2-1-9
	与那原中央病院 ☎ 098-945-8101 〒901-1303 与那原町字与那原2905
	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター ☎ 098-888-0123 〒901-1193 南風原町字新川118-1
	沖縄第一病院 ☎ 098-888-1151 〒901-1111 南風原町字兼城642-1
	南部徳洲会病院 ☎ 098-998-3221 〒901-0493 八重瀬町字外間171-1
豊見城中央病院 ☎ 098-850-3811 ※6月に友愛医療センターに改称、移転。 〒901-0243 豊見城市字上田25 6月より豊見城市字与根50 移転後も同じ電話番号の予定	
宮古	沖縄県立宮古病院 ☎ 0980-72-3151 〒906-0013 宮古島市平良字下里427-1
	宮古島徳洲会病院 ☎ 0980-73-1100 〒906-0014 宮古島市平良字松原552-1
八重山	石垣島徳洲会病院 ☎ 0980-88-0123 〒907-0001 石垣市大浜446-1

## あとかき

現在、離島や本島北部に住むがん患者さんは、多くの方が本島中南部で治療を受けています。確定診断、病期の決定、手術、薬物療法、放射線治療といったさまざまながん医療の過程で、航空機や船舶、車を乗り継いで本島中南部の医療機関を受診しています。

その一方、胃がん、大腸がん、肝細胞がん、胆のうがん・胆管がん・乳頭部がん、膵臓がん、肺がん、皮膚のがん、乳がん、子宮がん、前立腺がんなどは、北部地区医師会病院、県立宮古病院、県立八重山病院で治療が完結できます（放射線療法を除く）。また、離島や本島北部の診療所でも、経過観察や症状緩和など、できることはたくさんあります。

これまで、このような情報の提供が、がん患者さんやそのご家族に対して、十分には行われていない現状がありました。また、「地元で治療ができるということや、経過観察ができるということを知っていれば、地元で医療を受けたのに…」という、がん経験者の方からのご意見もいただきました。

もちろん、本島中南部の医療機関で診療を受けるのもよいですし、がん医療の均てん化と同時に、集約化も今後はますます重要になっていくと思われれます。

しかし、いま、第一に必要なのは、住み慣れた地域の医療機関で精密検査や治療を受けられる可能性についての情報を、がん種ごとにきちんと伝えることだと考え、その一步として、本書を刊行いたしました。

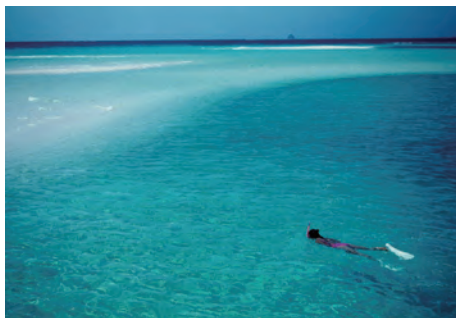
これまでこのような試みはなく、手探りでの情報収集と執筆だったため、不十分な点が多々あるかと思えます。そのような中で、本書の刊行の意義をご理解いただき、快く情報提供と刊行の承諾をしていただいた多くの医療機関の方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。また、貴重なご意見をいただいた多くのがん患者会やがん患者さん、ご家族、ご遺族のみなさまにも、心より感謝申し上げます。



私たちは、本書を県民のみなさまと一緒に育てていきたいと考えております。そのためにも、ご意見を直接私たちにいただければ幸いです。

本書が、離島や本島北部にお住まいのがん患者さんとそのご家族のために、少しでもお役に立てますことを、祈念しております。

琉球大学病院がんセンター長・診療教授  
増田 昌人



## 主な編集協力者

---

新城 純（八重山のがん患者を支援する・やいまゆんたく会会長）

真栄里 隆代（ゆうかぎの会（離島におけるがん患者支援を考える会）会長）

森 英毅（元沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属座間味診療所所長）

瀬尾 卓司（元沖縄県立八重山病院血液・腫瘍内科医師）

埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院教授）

東 尚弘（国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部長）

天野 慎介（一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長）

渡邊 清高（帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科准教授）

又吉 未央（元琉球大学病院がんセンター）

## 編集

---

写真 垂見健吾  
イラスト&デザイン 織田みどり  
編集ディレクション 三枝克之 (office UNIZON)

### がん患者さんのための療養場所ガイド8 久米島町編

発行日	2016年3月31日 初版発行 2020年3月31日 第2版発行
編著	琉球大学病院がんセンター
発行者	増田 昌人
発行所	琉球大学病院がんセンター 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207
編集	office UNIZON 〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城2-39-8 2F
印刷・製本	彩優印刷 〒901-1115 沖縄県島尻郡南風原町字山川21

本書の無断転写・複製・転載を禁じます。ただし、地方自治体や都道府県がん診療連携協議会拠点病院等の関係者による「がん対策」においては、その限りではありませんので、琉球大学病院がんセンターまでお問い合わせください。

## がんの療養に役立つ書籍

タイトル	表紙	編著
		関連URL (ホームページより無料で閲覧・印刷可)
患者必携 がんになったら 手にとるガイド 普及新版		国立がん研究センター がん対策情報センター  <a href="https://ganjoho.jp">https://ganjoho.jp</a> ※トップページ右側「患者必携」のバナーをクリック
患者必携 地域の療養情報 おきなわ がんサポート ハンドブック		沖縄県 沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会 琉球大学病院がんセンター  <a href="https://www.okican.jp">https://www.okican.jp</a> ※トップページ「おきなわがんサポートハンドブック」のバナーをクリック
ご家族のための がん患者さんと ご家族をつなぐ 在宅療養ガイド		地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援 情報プロジェクト  <a href="https://plaza.umin.ac.jp/homecare/">https://plaza.umin.ac.jp/homecare/</a> ※トップページ左側「ご家族のためのがん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」のバナーをクリック

(2020年3月現在)

1. 「がんかもしれません」または「がんです」と言われたときに一番大切なことは、家族をはじめとする信頼のおける方と一緒に、担当医からよく説明を聞くことです。納得のいくまで説明を受け、質問をして、さらに納得のいくまで回答を得ることです。
2. その際に参考になるのは、『患者必携 がんになったら手にとるガイド』と『患者必携 地域の療養情報 おきなわがんサポートハンドブック』です。これらの書籍には、がん患者として病気と向かい合うための情報が載っています。
3. がんの病状が進行し、在宅医療を考えたときには、『ご家族のためのがん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド』が参考になります。

お問い合わせ

琉球大学病院がんセンター

◎本書は2020年3月現在の情報に基づいています。

沖縄県 **がん患者さんのための療養場所ガイド** シリーズ全8巻



1 竹富町・与那国町編

2 石垣市編

3 多良間村編

4 宮古島市編

5 伊平屋村・伊是名村・伊江村編

6 本島北部編 (国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市)

7 本島周辺の離島村編 (粟国村・渡名喜村・座間味村・渡嘉敷村  
・北大東村・南大東村)

8 久米島町編

各巻はそれぞれの地域の主な医療機関や沖縄県内のがん診療連携拠点病院などで配布しています。